

第5回 南砺市環境審議会 会議録											
日時	平成25年 1月30日(水) 14:00~16:00	場所	南砺市井波庁舎 3階多目的ホール								
出席者	①南砺市環境審議会委員 : 安田会長、浦出委員、奥野委員、蓑口委員、長谷川委員、水口委員、江田委員、中島委員、杉森委員 9名 (欠席者: 堀委員、松本委員、横川委員 3名) ②中山副市長 ③事務局 : 三谷部長、表課長、横井副主幹 3名 ④委託業者: (株)中部設計 3名										
配布資料	①第5回南砺市環境審議会 会議次第 ②第5回南砺市環境審議会 座席表 ③第4回南砺市環境審議会 会議録 ④資料1. 計画案 ⑤資料2. 南砺市環境基本計画「計画素案」から「計画案」への主な変更点について ⑥資料3. 「古道 道宗道」の鳥瞰図について ⑦資料4. 表紙案について (A案、B案、C案) ⑧資料5. 南砺市環境基本計画案についての意見書 (様式)										
番号	議 事 内 容										
1	1. 開会 ・事務局から、開会の挨拶を行った。										
2	2. 会長あいさつ ・会長から、開会の挨拶をいただいた。										
3	3. 第4回審議会の会議録について ・事務局から、第4回審議会の内容を確認するため、以前に配布した会議録に記入漏れや誤記がないかを諮った。委員からは特に相違の意見はなく、会議録の承認を得た。 ・事務局から、情報公開の観点で会議録を市のホームページで公開することを報告した。										
4	4. 計画策定の経過と市長への答申までの予定について ・事務局から計画策定の経過と市長への答申までの予定を説明した。 ・これに合わせて事務局から諮った質疑に対し、委員から以下の意見が寄せられた。 <table border="1" data-bbox="264 1541 1410 2072"> <thead> <tr> <th>発言者</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務局</td> <td>計画策定の経緯ということで、議会説明で環境像の「なんと美しい緑の里」にある「里」の扱いについて質問がありました。里というイメージが平地だけを指しているのではないかと。山手のほうは里ではない。別の言い回しがあるのではないかと。そのような意見でした。一方で、里というのは、人が住むような所を指すと思われるので、山や平地を意識せず、どちらも含むようにも感じられるところもあります。皆さんはどのようにお感じになられるのか、イメージ的なものとして、ご意見を頂戴したいと思います。</td> </tr> <tr> <td>会長</td> <td>「緑」の方に、山も全部含まれている。人がいるのは里だが、里と山が切り離される訳ではないと思います。</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>「里」には、山の集落も含まれていいのではないかと。というふうに感じております。</td> </tr> </tbody> </table>			発言者	内 容	事務局	計画策定の経緯ということで、議会説明で環境像の「なんと美しい緑の里」にある「里」の扱いについて質問がありました。里というイメージが平地だけを指しているのではないかと。山手のほうは里ではない。別の言い回しがあるのではないかと。そのような意見でした。一方で、里というのは、人が住むような所を指すと思われるので、山や平地を意識せず、どちらも含むようにも感じられるところもあります。皆さんはどのようにお感じになられるのか、イメージ的なものとして、ご意見を頂戴したいと思います。	会長	「緑」の方に、山も全部含まれている。人がいるのは里だが、里と山が切り離される訳ではないと思います。	事務局	「里」には、山の集落も含まれていいのではないかと。というふうに感じております。
発言者	内 容										
事務局	計画策定の経緯ということで、議会説明で環境像の「なんと美しい緑の里」にある「里」の扱いについて質問がありました。里というイメージが平地だけを指しているのではないかと。山手のほうは里ではない。別の言い回しがあるのではないかと。そのような意見でした。一方で、里というのは、人が住むような所を指すと思われるので、山や平地を意識せず、どちらも含むようにも感じられるところもあります。皆さんはどのようにお感じになられるのか、イメージ的なものとして、ご意見を頂戴したいと思います。										
会長	「緑」の方に、山も全部含まれている。人がいるのは里だが、里と山が切り離される訳ではないと思います。										
事務局	「里」には、山の集落も含まれていいのではないかと。というふうに感じております。										

4

発言者	内 容
委員	「郷」という言葉もある。「利賀瞑想の郷」を名付けた時に「郷」を使ったこともあるが、ただ、やっぱりちょっとつらいなど。やはり、総合計画の都市将来像においても、山も町も村もあるよということで、こちらの「里」にした経緯があるので、整合性の意味合いでいえば、「里」のほうが分かりやすい気がする。「郷」は歴史を感じるころではあるが、格式高い感じがして、ちょっと大げさすぎる印象を受ける。もっと等身大的な、生活の中にある、そういう感じが良い気がする。
事務局	わかりました。もう一度、議会に説明する機会があるので、そういう話が出るようなことがあれば、そのように回答させていただきたいと思う。
委員	「郷」は堅苦しい気がする。自分がいるところが全て「里」な訳で、山も川も海も関係ないと思う。町だって昔は里だった訳で、生活圏がすべて「里」だと思う。
委員	「郷」は生活感を感じない。生活が大事だから。
委員	総合計画の方にも「緑の里」が使用されているから、整合性や連なりというふうに考えれば、「里」は自然な使い方のように思う。
委員	総合計画の都市将来像は、実は私が作らせてもらった。当時の経緯でも、五箇山があって、町があって、平野があって、それを繋ぐときはこの「里」かなというふうに思った。
委員	ここから離れていった人にとっては、そこがふる里になる。
委員	それに「日本の原風景」な訳だから、生活感のあるもので良い気がする。
委員	それに山といえば、エベレストとかいうふうな本格的な山岳という感じを受ける方もいる。子ども達はみんな自分のところがふる里の「里」だと思っていますし、「里」自体が良い響きであるし、これからの環境像には相応しいと思う。
事務局	ありがとうございました。

5

5. 議事

- ・事務局[委託業者]（以下、事[委]という。）から、計画案を説明した。説明した内容は以下のとおり。
 - (1)「計画素案」から「計画案」への主な変更点について
 - (2)計画の推進編及び資料編について
- ・会長による司会進行で、委員に議事を諮ったところ、以下の意見が寄せられた。

(1)「計画素案」から「計画案」への主な変更点についての意見

発言者	内 容
会長	只今、事務局から説明のあった内容のうち、まずは計画素案から計画案への主な変更点について、この点に関してのご意見やご質問をお受けしたいと思う。
委員	計画案3頁の下から3行目。「いのちの4分野を連動させ」とあるが、「いのちの4分野」の4つはどれとどれを指しているのか読み取れない。「農林水産業」「健康・医療・介護・福祉」「教育・次世代育成」で3つになる。それに「環境保全の推進やエネルギーの自給を促進しながら」もひとつに含めるのか。

5

発言者	内 容
事務局	本文中の“環境保全の推進やエネルギーの自給”に括弧がないので分かりにくくなっている。括弧を付けることで対応したい。なお、この「いのちの4分野」については、市長の新年の訓示でも挙げられたが、その内容に対応させたものである。
委員	82頁の環境教育について、いろいろと書かれているが、具体的にはどのように進めていくのか。市内の小学校や中学校でやっていることがバラバラなのが現状である。やはり市がある程度方針を示してそれに基づく教育を行うのか、それとも、学校単位の独立性でいくのか。そういう方向性がないといけないと思う。
会長	環境教育の進め方についての話だが、事務局から参照頁があればどうぞ。
事[委]	今後の子どもの環境教育に関する施策の方向性は83頁の「(2)環境教育、環境学習の機会提供・支援」の中で、環境指標は142頁の通し番号の92番から96番にかけて掲載させていただいた。
委員	保育所の活動も入れるとよいのでは。
事務局	こどもエコクラブのことでしょうか。
委員	そうだ。それから余談だが、地球温暖化防止活動推進員の育成の件もお願いしたい。
会長	今の育成の件は、84頁の「(3)核となる人材や団体の把握・育成」に関するところで、ここを積極的に進めて欲しいというご意見になるかと思います。
事[委]	はい。まずは核となる人材や団体の現況数を正確におさえるところから始め、どこにどのような活動をしている方が、どの程度いらっしゃるのか。まずはそこを出発点にして取り組んでいく必要があるのではないかと考えています。
会長	そこから新たな人材を掘り起こしていくということで整理されている。
委員	69頁にある「市民団体等による主な緑化活動」の表中に「花とみどりの少年団」の団員数があるが、これは定数が決まっている訳ではないので、この表にその年の団員数を書くのはいかがなものかと思います。そう思ったのは、全児童数に対して団員数がものすごく少ないパーセンテージというか、例えば、井口や平、上平では30人や50人と団員数があるのに、福野や福光、城端では一握りしかいない。それにいつの年度の実績なのかもよく分からない。
事[委]	実績年度については、表中の組織名の横にH24.5と書かせてもらっている。この表は「現況と課題」として整理したもので、ご意見にもあった加入率がものすごく少ないとか、地域間でバラツキがあることもこの表から読み取ることができるので、これを課題にして、今後はもっと団員数を増やさなければいけないとか、そういう方向性を検討していく上でも、このデータを載せた方がよいと考えています。
会長	私からの質問として、施策の展開でさまざまな施策を挙げられた訳だが、例えば、先程話のあった84頁の「(3)核となる人材や団体の把握・育成」というような。それらの施策や事業を進めていく際の担当窓口が市民が見たときに分からないような作りになっている。そういう視点から、表中に担当所管課を入れ込むことはできないものか。そうすれば、市民も相談窓口が分かるのでは。それとも、この計画にある施策や事業の窓口は全て住民環境課になるという解釈になるのか。そこ

5

発言者	内 容
	らあたりの考えを事務局にうかがいたい。
事務局	この表を作成していく過程で、当初は担当所管課を入れ込んで整理していたが、庁内調整の中でいろいろと難しい話や調整しきれないところがあった。そういった経緯で表中に担当所管課を明記しづらいところもあり、省かせていただいた。なお、県内で策定された環境基本計画でも、同様の措置（担当所管課が明記されていない）だったことも確認しているところである。
会長	そうすると、市民からの相談や問い合わせは住民環境課が窓口になって集約し、そこで采配していただくというような流れになるが、そういう解釈で構わないか。
委員	それも苦しいような気がする。
会長	しかし、市民がこの計画を積極的に進めていこうとする際、相談や要望の窓口がやはり必要なのではないかと思う。これは後の推進編とも関係してくる話なので、そこでまたうかがうことにするが、他にご意見がないようであれば次の議事に進めたいと思いますが、よろしいですか。
委員	ひとつだけ。41頁にあるリサイクル率の表下の備考3について。既に止まっているPDF製造施設についての記述がある。リサイクル率を出すための裏付け的なことで必要な記述なのかもしれないが、そうであれば、表現を「製造しているため」でなく、「製造していたため」にした方がよいのではと思う。
事[委]	PDF製造施設は平成24年9月に休止したので、過去形の表現に改めることで対応します。

(2) 計画の推進編及び資料編についての意見

発言者	内 容
会長	<p>それでは、先程、事務局から説明があった「計画の推進編及び資料編」について、この点に関してのご意見やご質問があればどうぞ。</p> <p>その前に先程の意見にも関連する話だが、130頁の推進体制について。市の体制では、庁内（関係部署）と事務局（住民環境課）間で連絡・調整するとなっているが、これは会議の設置を想定したものなのか。事務局の住民環境課とそれぞれの担当所管課が施策毎に直接出向いて連絡・調整するという意味合いなのか。それとも、庁内の関係部署が一堂に会して連絡・調整を行う会議スタイルを想定されているのか。どの体制にするかで今後の計画の進め方が随分違って来るように思う。このような関係部署の広がり大きい計画では、互いに同じ情報を共有し、同じ危機感を持って取り組まないと計画が進みづらい。そのためには推進会議のようなスタイルが必要だと思う。そうでなければ、果たして計画が進むのかという思いがある。そこらあたりの考えを事務局にうかがいたい。</p>
事務局	策定の経緯の中でも庁内連絡を2回程しており、関係部署が一堂に会した会議スタイルで行ったものもある。必要があれば、事務局と庁内の関係ではそういう会議の招集も可能だと考える。また、環境指標を定めているので、事務局がそれらの進捗を担当所管課に照会する必要もある。それから各部の部長級を招集する庁議

5

発言者	内 容
	<p>もあり、その場でさまざまな話をする機会があるので、そのあたりで関係部署の調整が可能かと思われる。この計画にはそこまで細かく書き込んではいないが、庁内の横の連携は庁議の中で行っており、既存の会議を活用しながら、計画を進めていく、そういう推進体制を考えている。</p>
会長	<p>その庁議の場が連絡・調整の場となるということだが、その中に各課の会議も含まれるし、部長会議も含まれる。それ以外にも個別に連絡・調整も進めていくと、庁舎内の推進体制はそういう理解で宜しいか。</p>
事務局	<p>そのように進めていきたい。</p>
委員	<p>130頁の環境審議会について。132頁の進行管理でも環境審議会の役割が書かれているが、現在行われている「南砺市協働のまちづくり条例市民会議」でもそうだが、その進め方というか、あり方が非常に難しいと感じている。構成委員には当然のことながら公募の方もおられる訳で。中には、自分らが真剣にひっぱらないといけないような考えで没頭し過ぎる方もおられるので、ある程度は第三者的というか、客観的に冷静に判断しながら、評価なり点検なりを進めなければ計画が前進しない。そういう意味では、環境審議会の構成や委員選定も含め、審議会の位置づけや進め方を改めて定義づけておくことが必要と思う。</p>
委員	<p>今のお話に関連して、ここに書かれている推進体制は行政の視点から整理された感じを受ける。市民参画の記述はあるが、市民と行政をどう結んでいくかという、そういう関係性あたりが抜けている気がする。例えば、87頁に「市民からの発案の促進」云々が書かれてあるが、その体制整備をどうするかはこの推進体制あたりで謳っておく必要があるのではないか。そうでなければ、87頁の「市民からの発案の促進」はただ書かれただけという印象になってしまう。一方で、事務局の住民環境課では、現在の人員数と業務範疇やそのボリュームをみても、ここでは多分対応しきれないのではないかという気がして。そういった観点からも、ここでは市横断的に、例えばホテルだとフロント的なそんな感じで市民と行政間にワンクッションがあればいいのではないか。市の環境問題をとりあえず聞き入れるところ。そこが中心になって、各課や市長に提言するという感じにでもしておかないと計画が進まないのではと思ってしまう。先程のお話にあった「南砺市協働のまちづくり条例市民会議」にしても、そういう会議がないと進まないのではということが設置の経緯だったはずだが、ここでもやはりそういう場が必要なのではないかと思う。計画中には市民参画の方法として、市政懇談会からパブリックコメントまで4つの方法が書かれているが、例えば、パブリックコメントや行政CRMに出された意見に対し、対応できたのは何%あるのか。私はほとんどないと思っている。そうすると市民の声が入っていないことと同じな訳である。まずは市民と行政間を繋ぐ場があれば、行政マンが何でもかんでも全部やらなきゃいけないということではなくて、専門的な人がいる場合にはその方にお任せする、その方がずっと進むのではないかという気がします。</p>
委員	<p>事務局の住民環境課と一緒に、市民の何人かに委任して窓口の役割を果たしてもらおう、そういう進め方もよいと思う。</p>

5

発言者	内 容
事務局	<p>そういうワンクッションがあるのは一番理想的だろうとは思いますが、進めていく中で、その役割や職権が曖昧になってきてしまうと、本来の事務局として全体を把握し、取りまとめ、調整しなければならない立場の住民環境課と頭が二つになる可能性もある訳で、それが全体の混乱に繋がる可能性もある。やはり職員数云々の問題ではなく、これは住民環境課でやらなければいけない話だという認識を持ち、体制でもやはり住民環境課が環境問題の窓口で進めていきたい。それから、市民参画の点では、住民環境課に直接寄せられるものもあるが、「市長への提言」や「行政CRM」で寄せられた意見は市民協働課が全て意見集約し、そこから直接それぞれの担当所管課に割り振られ、その担当所管課がそれらの意見や要望に対し、責任を持って対応する流れになっている。また、その対応がどこまで達成できたかということも毎年出してきているので、そういう中でも環境問題に関する事柄については住民環境課が取りまとめをしていかざるを得ない、そういう立場にいることもご理解いただきたいと思う。</p>
会長	<p>もし、住民環境課だけでは人手不足な面があるとすれば、市民の方で積極的に参加される方に委託的な話で、窓口業務を任せるしくみのようなものを考えると、早くできるのかもしれない。職員を増やすのが一番良い訳だが、なかなか時間のかかることかもしれない。</p>
事務局	<p>役所全体からいえば、ずっと人員削減の方向で進めているので、増員はなかなか難しいことではある。その中で、会長のご発言のように、誰かにお願いする。それこそ市民協働の部分でお手伝いをいただく適当な方を探すことも一つの方法だと思う。市民協働は、まちづくりを進めていく上で必要なことであると市長が先頭に立って進めているので、その部分と環境問題の窓口をどのようにつなげていくか、それは今後の検討課題にさせていただきたい。</p>
委員	<p>今の意見をうかがっていて、住民環境課の従来の仕事にこの計画の仕事が加わったのではなくて、住民環境課のメインの仕事が環境基本計画の推進だという考えで庁内の関係部署と連携していただかないと、この環境指標は達成できないと思う。例えば、子ども達の小さな芽を大きくするには、指導者や推進者の気持ちの継続が必要になる。市民協働では一般の方が何人かおられるかもしれないが、それを引っ張る母体はやはり行政でなければいけない。良いものを残し、さらに良くしましょうという時に、やはり大局的に判断するのは、行政である住民環境課だという自負を持ってこの計画を推進していただきたい。以前、県の男女共同参画の仕事をさせていただいたときに、10年程前には女性の活躍の場が10%程しかなかったのに、その推進母体が懸命に活動した10年後の今では30%程にアップしている。そんなふうに行行政側の取り組む姿勢がとても重要になる訳で。まずは素晴らしい人材をたくさん把握・育成してもらって、軌道に乗ったら市民の方々に職権の範囲の中で活動をしていただければと思う。</p>
事務局	<p>環境指標を毎年点検・評価し、その進捗を把握することができるようになる。そういう全体の取りまとめの中で、事務局である住民環境課がその進捗状況を確認しながら、関係部署に働きかけて計画を推進していく、そういうかたちを取らせていただきたいと思う。</p>

5

発言者	内 容
会長	そのように宜しくお願ひしたい。他にご意見があればどうぞ。
委員	<p>環境像が決まったが、イメージというのは住民のハートに訴える言葉なので、非常に大切だと思う。今出ているのはゴシックと丸ゴシックが多いが、さらに効果的なデザインにしてもらう方が良いと思って。ゴシックだと押しつけがましくなりやすいので。私の方で明朝体や細ゴシック等の三種類くらいで案を何枚か作ってみた。なんかおしゃれだなという感じで。ハートに伝わるような配慮をデザインの方にも一つ取り入れてもらいたい。余計なことだが、特にダイジェスト版のときに活かしてもらいたいと思って。それともうひとつ、「資料3. 古道 道宗道の鳥瞰図」についても、実際には南砺市の78%が山林だということが、数字で出ていてもイメージしづらいが、この鳥瞰図を見ると実感できる。人口動態をみると、一次産業は1%に満たない。その1%に満たない人達がこの8割の山林を守っているのは大変だというふうに、平場や町の人達には感じてほしい。山の仕事がどんなに大変で、高齢化で就業人口が減少の一途を辿っていることを実感してもらうのにこういう鳥瞰図とか言葉とか、表紙に出さなくても、そういうメッセージ性を残すことで、実は南砺市は豊かであると同時に深刻でもあると、ダイジェストのときなんかそうアピールするのも方法の一つ。怖い部分をきちっと伝えるというか、そういう配慮をしていただけるとありがたいと思う。こういうふうにしてほしいという意味ではないが、環境像が非常に良いという意味で申し上げた。それと合わせてこういうビジュアルで、もともと市民の意識を。こんなに山がたくさんあって、山も平場も散居村もあって、町が4つもあって、そんなところは県内で南砺市だけだということを、夢もあるけど同時に問題もあるということを、市民が感知できるように、こういうことを大事にいただけるとありがたい。</p>
会長	ありがとうございます。ではこの件は事務局で検討していただくということで。
事務局	検討してこちらで決めさせていただくことでお願ひしたい。
委員	<p>あと一つ。人づくりやしくみづくりのところで、子ども達の自然体験がいろいろと取り上げられているが、山仕事をしているお年寄りが元気なので、そういう方々の経験をもっと活かしましょう的な具体的な記述がみつからない。山林の豊かさについて、実際に山仕事をしているまたはしていた人達の技や知恵を伝える、そういう人材を活かすという意味では、高齢化が進み、時間がないが、そういうことをしくみづくりの方に一言に入れていただければいいかなと思う。</p>
委員	<p>山ばかりでなくて、散居村の方でも伝承というか、今は年配の方々の知恵を未来につなげていくギリギリの線にいるのだと思う。最近でいうと、例えば、左義長は藁ともみ殻に火をつけて竹を燃やす行事なのだが、その材料は本来全部地元にあるもので賄ってきた。今では藁なんかは回収できない地区もあるし、きれいに燃やすための竹の組み方とか、そういうことがうまく伝承されていない。古くからある慣習や技術、知識、手仕事を伝えるお年寄りが居なくなっている。農作業の中でも、昔は生活の中で循環できているものがたくさんあったのが、途切れていく、そんなギリギリのところにはいるのだということを実感する。</p>

5

発言者	内 容
委員	99～100頁のところのリーディングプロジェクトでもそのようなことが謳われているが、今みたいな具体的な話がぜんぜん出てこないのでイメージが湧きづらい。
委員	確かにいつどこで誰がどういう計画でどのような仕事するのか、始まるのかというのが見えてこない。
委員	そういう年寄りが持っている昔の技術というものは、徐々になくなってきている。今はその境目になっていると思う。116頁にあった廃棄物の野外焼却のこともその一つで、昔からものの循環には火、水、腐敗化がずいぶん大切なこととされていて、自然の循環の重要な要素であると思うんだけど。今はほとんどがごみだということで、全部そういう扱いで物事を判断されるものだから、処分業者に全部持っていないといけない。そういう昔からあった知恵や技術が失われていっているのが今の状態だと思っている。
委員	一昨日ちょうど嬉しいことがありまして。孫が宿題で「おばあちゃん、かきもちの作り方を教えて」と聞いてきまして。そういうふうな宿題を学校からもらってくる、それによって私も忘れかけていた作り方を思い出したり、孫と一緒に作ったり、団らん時にその話が出てきたりしてね。その宿題が学校でどうなったのか、どう広がっていくのかはちょっと分からないが、先生がそうやって風習とか昔の生活の知恵みたいなものを生徒に投げかけている。かきもちを作るのが狙いなのか、3世代の交流を図るのが狙いなのかは別として、地域に残る伝統的な手仕事なり、生活の知恵みたいなものを子ども達に伝える機会を与えてくれているのだなと思って、嬉しかった。
委員	自然の循環は、ひとつの大きなテーマだが、南砺市ならではの町と平場と山に暮らしている人達による「人の循環」。南砺市の人の循環、年代や地域間での循環というものをこのリーディングプロジェクトの目玉みたいにする、南砺市らしい計画になるような気がする。
委員	リーディングプロジェクトについて、96頁にその重要性が書かれているが、ここには重要事項は捉えてあるけど、市民が実際に取り組もうとした時にどうやってタイアップするのか。あるいはどうやって行政と一緒にするのか。そういったしくみ的なもの、それから役割的なもの、それが出ていない。どこかでその仕掛けを書いておかないと、そのまま走ってしまうような気がする。やっぱり仕掛けが必要だと思う。
委員	10年近く行っている「みんなで農作業の日in五箇山」というのは、地元の人や町の人達が田植えをしたり、稲刈りをしたり、赤カブを植えたり、草刈りしたり、石垣積みをしたり。そうしていると地元の人達が元気になっていく。地元の人達の要望をみんなで応援するから。別に難しいことをしている訳ではないが、そういう仕掛けを作れば、それが確実にできると。
委員	この計画にもその仕掛けを明記しないと。計画にもし馴染まないのであれば、審議会から市長に提言するのでもいいが、そうしないとこの計画は教科書だけで終わってしまいそうな気がする。そこになんらかの形の言葉で仕掛けをいれておけ

5

発言者	内 容
	<p>ば、実施計画を多分作られるだろうから、その段階で生きてくる言葉なんかを一言二言入れていただいて、実施計画に入るための布石とする形がよいと思う。</p>
委員	<p>今年は伊勢神宮の式年遷宮だが、あれをみていると20年に一度建て替えをしているから、技能が継承され、職人が育つ。南砺市もそのようなサイクルみたいものがあればよい。山の方では、まだ伝統はある程度引き継がれているのだろうが、平野部になると80歳以下の方はそんな技術的なことは殆ど分からないだろうと思う。さっきの左義長の話も一緒に、上も下も万遍なく燃えるためには、藁の組み方や竹への縛り方にいろいろと技というか工夫がいる訳だけど、今の左義長では、そういう技巧はうまく伝承されていないと思う。</p>
委員	<p>枝木の野焼きなんかも一緒に、ずっと昔からしている人は、どんな風の時に火をつけたら一番うまく燃えるか、煙を少なく燃やせるかが経験で分かるけれども、そういうことを知らない人がやると、枝木を山のように積み上げて燃やすから、もうもうと煙が出るだけでしっかり燃えないわ、周りには迷惑行為で害になるわという。暮らしの上では欠かせない知恵とか経験を若い頃から少しずつ教わったり、慣らしていくことはとても大切なことだと思う。</p>
事務局	<p>話が十分いろんなところで盛り上がっているところであるが、これまでのご発言にもあった手仕事や生活の知恵みたいなものを残せなくなってきている現状について、危機感というか、そういうものを人づくりとかしくみづくりとかの部分で、課題や問題提起としてひとまず書き込むという感じで宜しいだろうか。ただし、今のようなささまざまな事例を書き込んでいくとなると膨大な量になります。</p>
委員	<p>一行でいい。</p>
会長	<p>これは基本計画なので方向性を示すだけでよいと思うし、この計画に書かれている方向性を具現化するには、別途いろいろな実施計画や事業が出てくると思う。それにここに書かれていない事柄でも、必要なものはやらないといけない訳だから、この計画で何もかも盛り込んでなくても、これからどんどん市に、それこそ窓口の住民環境課に提案して、進めていけるよう後押しをしていただくことが重要なことではないかと思う。何もかもこの計画に盛り込むことは難しいと思います。また、リーディングプロジェクトについては、今回で最後になる審議会でこれを全面的に書き変えることは恐らくできないので、ここで足りないことは、具現化される段階で行っていただくようなことをご理解いただけたらと思う。それから、この基本計画については、平成25年度から実行に移し、中間報告が平成28年度以降になる。それまで環境審議会に報告はないのだろうけど、これまでの意見をうかがっていると、市に対して随分と不信感のようなものがあるようなので、今どのように進行しているのかというような経過報告みたいなものがあれば、委員の皆さん方も安心できるのかなと思う。</p>
事[委]	<p>これまで頂戴した意見のことについては、86頁の上の「①地域間交流」のところです少し記載しているが、ここに「世代間交流」的な課題を少し追加させてもらうことで対応したいと思うが、いかがだろうか。</p>

5

発言者	内 容
会長	ここには、今いただいた問題点が把握されていて、そのための対策を今後練っていかないといけないということも一応書かれてある。
委員	86頁の地域間の交流のところは、非常に良い言葉でまとめてあるので、ダイジェスト版とか広報の時にこれにメリハリをつけてもらえればよいと思う。これはこれでちゃんと謳ってあるのは確かなので、次のステップかなという気もします。
会長	要するにこの基本計画をどうやって具体化し、実行に移すかということが大事なところである。時間もあまりにないので、表紙案の説明を事務局からお願いしたい。

(3) 計画書表紙案についての意見

発言者	内 容
会長	只今、事務局から説明のあった3つの表紙案について、この点に関してのご意見やご質問をお受けしたいと思う。
委員	裏表紙の電話番号（82-1180）だが、この番号で合っているのか。
事務局	住民環境課がある井波庁舎の代表番号を書かせていただいた。
委員	窓口が住民環境課なら、井波庁舎の代表番号ではなくて、住民環境課直通的の番号を載せた方がよいと思うが。
委員	82局からの発信は、市民にはあまり馴染みがないのでは。
事務局	住民環境課の直通番号（23-2008）に修正する。
委員	表紙案についての意見でいうと、A案やB案はきれいな市章がぼやけてしまって、ちょっと変な印象を受ける。C案が一番妥当かなという思いがする。
委員	私もC案が好き。ただ、この井波の八日町通りの写真について、入口の欄間がメインなのか、もう少し奥に入った写真があるとよいと思うのだが。
委員	右側の欄間はいらない。右側がなければ八日町通りだけになる。それから、写真の間に入っている白色の枠取り線だが、景色が見えにくくなるし、不要と思う。
委員	A案、B案はちょっと古くさい感じがね。C案は新鮮な感じがするが、マルチ線がうるさい。それだったら、上の方は八乙女山から見た散居村の凄惨な感じ、下はこの例えば合掌の瑞々しい感じ、これもいい写真。なんかそういうパンチのある、ガンガンとあって、後ろの頁にはこういうマルチ写真を幾つか入れて。できれば私は現在のこれを活かして欲しいなと思う。または、後ろの頁にある「古道 道宗道」を外してもよい。イラストなので性質は違うから。「古道 道宗道」は頁を開いて最初のメッセージのところぐらいに、実は南砺市はこういうイメージのところですよというところに入れるとか。このA案のマークはうまい逃げ方をするなど思っていたので許容範囲のうちだが、そうするとバックがぼけてしまう。

5

発言者	内 容
	<p>それだったら、C案の方が良くできていると思うが、表紙面にマルチ線はいらない。後はこのタイトルをピシッとデザインセンスの良いところでまとめてもらえば、南砺市はすごいパンフレットというか、報告書を作ったという印象になる。あとはデザイナーさんにもう少し頑張ってもらったら。例えば、このスローガンをもう少し切れ味のよい、おしゃれというか、南砺市には随分おしゃれなことをしてくれたなというようにできたらいいなという気がする。とりあえず良い線はいつていると思う。</p>
委員	<p>この「古道 道宗道」の鳥瞰図だが、市域境界は入らないか。県境や市境を入れておけば、南砺市の位置がより分かりやすくなる。観光にもずいぶん活かせるはずだと思う。</p>
事務局	<p>提供を受けたデータ自体がPDF形式のため、このままの画質でいろいろと加工することが難しい状態だということをご理解いただきたい。</p>
委員	<p>この環境基本計画だが、当面はどこに出していくのか。市民だけか。それとも東京や大阪にも出るのか。</p>
事務局	<p>東京や大阪までには出ないと思う。もし欲しいという方があれば、対応していくことになると思っています。</p>
委員	<p>というのは、地図で南砺市をみると他所からは本当に分かりづらい。別の会議の場でも言ったことがあるのだが、こういった地図を出す場合には県境をいれてくれと。五箇山を表示する時もあえて岐阜県の県境を入れておくと。そうしないと、他所からは、合掌造りは全部岐阜県にあると思われる。違うよ、富山県に合掌造りはありますよというような。そういう経緯でこの鳥瞰図に市域が入りませんかとお願したところだ。</p>
委員	<p>「エコビレッジフォーラム」の写真はいるのか。私は必要ないと思うが。それより、もっと南砺市の自然を活かした写真を載せた方がよいと思う。</p>
会長	<p>これまでの話をまとめると、皆さんのご意見ではC案が良い方が多い。なおかつ、この表紙には白色のマルチ線はいらないと。上に散居村の写真をもってきて、下に合掌造りの写真をもってきて。今の表紙にあるギフチョウやエコビレッジフォーラム、八日町通りの写真についてはどうした方がよいと思いますか。</p>
委員	<p>マルチは全部裏表紙に回して、表は大味にスカッと鮮やかにした方がよい。</p>
会長	<p>裏表紙にある「古道 道宗道」の鳥瞰図は。</p>
委員	<p>表紙に入れなくてよいと思う。南砺市を説明するところで使えばよい。</p>
事務局	<p>表紙の上は散居村、下は合掌造りでスッキリさせたものに変更する。</p>
委員	<p>上にある散居村の写真はもうちょっとね。まだまだよい写真があると思うので探してみしてほしい。この合掌の写真は素晴らしいと思う。</p>

5	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="264 210 379 259">発言者</th> <th data-bbox="379 210 1410 259">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="264 259 379 353">会長</td> <td data-bbox="379 259 1410 353">それでは宜しいだろうか。表紙案の件はこれまでということにします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="264 353 379 510">委員</td> <td data-bbox="379 353 1410 510">すみません。話を少し戻すことになるが、13頁のイラストにある「快適・心の豊かさ」の表記の仕方について。2段書きにするなら、「快適・」を上段、「心の豊かさ」を下段にした方がよい。「心の豊かさ」を途中で改行にしない方がよい。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="264 510 379 577">事[委]</td> <td data-bbox="379 510 1410 577">そのように修正します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="264 577 379 913">会長</td> <td data-bbox="379 577 1410 913">他にご意見はないだろうか。会議後にお気づきの点があれば、住民環境課に伝えていただければと思います。特に意見がないようであれば、これにて議事を終わらせていただこうと思います。本日いただいた意見については、先程の事務局からの案内のとおり、重要なものは発言者の了解を得て、その後、私と副会長の方で話し合いをして、最終的に決める形で進めさせていただきたいと思うので、宜しくお願いします。それでは、予定していた議事が終わったので、進行を事務局にお返しします。</td> </tr> </tbody> </table>	発言者	内 容	会長	それでは宜しいだろうか。表紙案の件はこれまでということにします。	委員	すみません。話を少し戻すことになるが、13頁のイラストにある「快適・心の豊かさ」の表記の仕方について。2段書きにするなら、「快適・」を上段、「心の豊かさ」を下段にした方がよい。「心の豊かさ」を途中で改行にしない方がよい。	事[委]	そのように修正します。	会長	他にご意見はないだろうか。会議後にお気づきの点があれば、住民環境課に伝えていただければと思います。特に意見がないようであれば、これにて議事を終わらせていただこうと思います。本日いただいた意見については、先程の事務局からの案内のとおり、重要なものは発言者の了解を得て、その後、私と副会長の方で話し合いをして、最終的に決める形で進めさせていただきたいと思うので、宜しくお願いします。それでは、予定していた議事が終わったので、進行を事務局にお返しします。
発言者	内 容										
会長	それでは宜しいだろうか。表紙案の件はこれまでということにします。										
委員	すみません。話を少し戻すことになるが、13頁のイラストにある「快適・心の豊かさ」の表記の仕方について。2段書きにするなら、「快適・」を上段、「心の豊かさ」を下段にした方がよい。「心の豊かさ」を途中で改行にしない方がよい。										
事[委]	そのように修正します。										
会長	他にご意見はないだろうか。会議後にお気づきの点があれば、住民環境課に伝えていただければと思います。特に意見がないようであれば、これにて議事を終わらせていただこうと思います。本日いただいた意見については、先程の事務局からの案内のとおり、重要なものは発言者の了解を得て、その後、私と副会長の方で話し合いをして、最終的に決める形で進めさせていただきたいと思うので、宜しくお願いします。それでは、予定していた議事が終わったので、進行を事務局にお返しします。										
6	<p>6. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から委員への連絡事項は、以下のとおり。 (1) 本日の審議会場で頂戴した特に重要な意見に関わる修正案は発言者と調整した上で、会長及び副会長にご報告・ご相談し、計画案に反映する。 (2) 本日の審議会以降の予定として、パブリックコメントの実施、及び議会及び民生病院常任委員会協議会への説明会を開催し、会長及び副会長の了承を得た上で変更点を計画に反映する。なお、今年度内には会長と副会長の出席の上で市長に計画を答申する予定。 (3) 本日の議事に関する意見等がある場合には、配布した意見書（様式）に内容を記載の上で、2月6日までに事務局に送付いただくことをお願いした。 										
7	<p>7. 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山副市長から閉会の挨拶が行われ、第5回環境審議会は終了した。 <p style="text-align: right;">以上</p>										